



岡山大学

教員養成の明日を築く

# 教師教育開発センター

岡山大学では教職をめざす学生の皆さんを支援するために、「教師教育開発センター」を創設しました。国立の総合大学が学部の垣根を越えて教員養成に取り組むことは、全国的にも例が無く、高い評価を得ています。この取組は本学の教育学部が培ってきた先進的な教師教育の理論と実践を基にしています。センターは「教師教育開発部門」「教職支援部門」「教職コラボレーション部門」「理数系教員養成事業部門」の4つの部門を擁し、教員養成教育の新たな姿を築こうとしています。ひとりでも多くの学生が、優れた資質と実践力を持つ教師として巣立つことを願っています。

平成21年度文部科学省大学教育推進GP選定取組

## 総合大学が担う特色ある教員養成の質保証

—地域と連携した全学教職課程の体系的構築とFD活動の推進—

# 岡山から発信する専門職としての教員養成

岡山大学の全学教職課程は「ESDの理念をもち、4つの力で構成される教育実践力をバランスよく身につけた反省的で創造的な教員」を育てることを、「ディプロマポリシー（Diploma Policy：修了時の到達目標）」に掲げています。そのために、教職課程のコアとなる部分を「全学教職コア・カリキュラム」と名付け、教師教育開発部門が中心となって運営しています。この全学教職コア・カリキュラムは、岡山大学だけではなく、学校・教育委員会・地域との協働によって構築されており、専門職としての教員養成のあり方を、岡山から発信するものです。

## 「全学教職コア・カリキュラム」の特色

### 《教師教育開発部門》

#### ①ESD (Education for Sustainable Development) の理念をもつ教師の養成

ESDとは、人類が抱える諸課題を解決し、多様な生物とともに、持続可能な社会を築くための担い手を育てる教育のことです。教科書の内容を教えるだけではなく、子どもたちの学びを広い視野と深い学問知を持って導くことのできる教員を養成します。

#### ②総合的な教育実践力をもつ教師の養成 —4つの力をバランスよく育てる—

岡山大学では、教育実践力を①学習指導力、②生徒指導力、③コーディネート力、④マネジメント力の4つの力で構成される総合的な教育実践の力量と考えています。授業実践だけではなく、学校現場で求められる総合的な教育実践力を養成します。

#### ③仲間とともに学び成長し続ける教師の養成

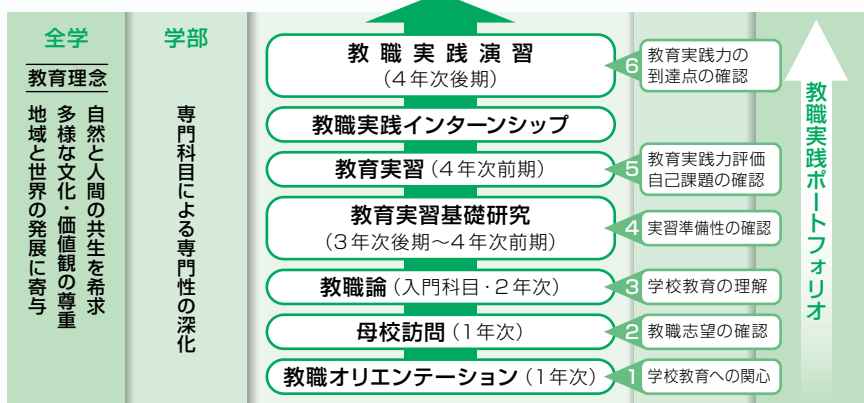
仲間とともに、教育実践を振り返り、成果と課題を明らかにして、教育実践を改善・創造していくことができる、主体的に成長し続ける専門職としての教員を養成します。

#### ④教職実践ポートフォリオは「夢と希望と専門職」の道しるべ

教職課程での学びの道しるべとして、4つの力の具体的な行動目標を段階的に示した「教育実践ポートフォリオ」を作成しました。4年次に開講される「教職実践演習」で「履修カルテ」としても活用します。教師への道を歩む皆さんの学びの羅針盤であり、教職への夢と希望をふくらませる豊かな学びの航海日誌となるものです。Web化していますので、いつでも自分の学びを振り返ることができます。



ESD (持続発展教育) の理念をもち、4つの力で構成される教育実践力を  
バランスよく身につけた反省的で創造的な教員



# 教職に関する相談と支援

## 《教職支援部門》

### 〈教職相談室〉

全学の教職希望者を対象にした「教職相談室」を開設しています。教員採用試験情報の提供、教員採用試験に向けた論文の添削、個人面接・模擬授業・ロールプレイングや場面指導などの教職支援活動を行なっています。平成22年度の延べ利用者は約4500人に上りました。教員採用試験に合格した学生の多くは、平均10回以上利用していました。

### 〈教師力養成講座〉

教職相談室の支援活動を通して、在学生や新採用教員として赴任した卒業生たちの多くが、学校現場における様々な課題に対して、不安を感じたり困惑したりしていることがわかりました。そこで、不安を解消し意欲的に教壇に立てる自信をつけていくために、平成21年度から「教師力養成講座」を開講しています。

学校現場が直面している、いじめ・不登校・学級崩壊・ケータイ・特別支援教育などの今日的な課題について、公立学校の校長など、最前線でご活躍の先生方による基調講演の後、参加学生が協議し、さらに最後のまとめにおいて講師の先生方から適切な指導助言をしていただきます。

この講座を通して、教師力の本質について理解を深め、教職に向けての意欲や自信を高めることができます。



# 大学・学生と学校・地域をつなぐ

## 《教職コラボレーション部門》

### 〈学生を学校・地域とつなぐ〉

岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、倉敷市教育委員会等の実施する「学校支援ボランティア」「教師への道インターンシップ」等に学生を派遣します。また、ボランティア活動に関する情報を収集・提供し、学校・地域と学生とをマッチングするために、「スクールボランティアビューロー」を設置しています。一定時間以上スクールボランティア活動に参加した学生には単位を認定します。



運動場で体育のサポート

### 〈大学と学校・地域を結ぶ〉

岡山大学教育学部は、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会等と連携協力協定を結び、公立学校の抱える諸課題への支援など、様々な協働事業に取り組んでいます。また、教員免許状更新講習は多くの学部が参画しています。

これらの連携の窓口となり、架け橋になります。

# 岡山大学は理数系教員の養成拠点

## 《理数系教員養成事業部門》

平成22年8月、(独)科学技術振興機構による「理数系教員(CST)養成拠点構築事業」に、岡山大学と岡山県教育委員会が共同提案した取組「科学の醍醐味を教科構成本力・研修構成本力に展開できる理数系教員養成ネットワーク拠点形成」が採択されました。CST(Core Science Teacher)とは中核的理数系教員を意味します。この事業では、小・中学校教員の理数教育における指導力向上を目的として、大学と教育委員会が連携し、養成プログラムの開発・実施や地域の理数教育における拠点の構築などに取り組みます。

岡山大学では、理科に強い小学校・中学校(理科)の教員(小学校CST・中学校CST)を養成するために、学部から修士課程までの6年間を通じた特別プログラムを実施します。また、教育学部以外の理工系学部学生が小学校教員免許を取得できるように小学校CSTコースの副専攻を設けるなど、理工系学部学生が小学校・中学校(理科)教員となるための条件を整備しています。

理数系教員養成事業部門は、この事業の推進を担っています。



## センター東山ランチ

本センターは、津島キャンパスの教育学部内に加えて、教育学部附属学校園がある東山キャンパスに「東山ランチ」を有しています。

東山ランチは、大学と附属学校園をつなぎ、大学と公立学校・教育委員会をつなぐ「ハブ」としての機能を果たします。

現在改修中ですが、1階は実習生や附属学校・公立学校教員が教材作成、授業分析・検討、研修に活用できます。

2階にはICTを活用した教育実践の開発・研究に活用できます。



# 全学の教職希望者を支援

## 先輩からのメッセージ



以西 英利香さん

(理学部数学科 平成22年度卒業 大阪府高校数学科採用)

私は中学生の頃から「一生感動し続けられる教師」という職業に就きたいと思っていました。大学進学後、はじめは専門の勉強が忙しく「教育」について考えることができませんでした。しかし、高校教師になりたいという意欲は固まっていたので、先輩に話を聞いたり教職相談室に行ったりして、教師になるための情報を集めるようになりました。そこで「教師とはどういうものなのか」「今の学校現場の実態はどうなっているのか」を知る必要があることを学びました。そのため私は学校支援ボランティアに参加しました。そこでは、問題の答えだけではなく、指導方法や生徒とのかかわり方を学ぶことができました。

教師を目指しているみなさん、これから多くの悩みにぶつかるとは思いますが、教師になりたいという意欲を確固たるものにして下さい。そして情報を集め、自分から動いて下さい。自分を成長させることが、生徒を教育することにもつながります。感動し続けられる教師になりましょう！

文学部生でありながら高校の教員を目指した理由は2つです。ひとつは専門的な知識を持ち、活用する楽しさを伝えたいと思ったことです。いまひとつは高校時代の恩師の存在です。恩師のように生徒に自信をもたせられる教師になりたいと強く憧れています。

1～3回生の間は、専門力を高め、社会性を身につける努力をすべきです。わかりやすい授業をするには、教科にかかわる深い知識を持っていなければなりません。4回生ではこれまで知識として理解したことを実践できるようにします。その際、自分の取り組みを他の人に評価していただくことが重要です。私は教職相談室の先生方に集団討論や模擬授業のアドバイスをいただくことで、実践の現場に合う指導とは何かを考えるヒントが得られました。また、様々な学部仲間と出会い、多角的な視点を持つことも学びました。互いを高め合う仲間を見つけ、意識を高く持ち、身近なところから実践して下さい。



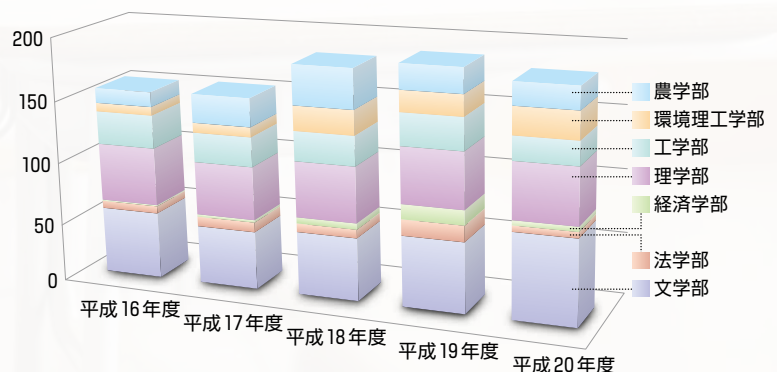
小山 龍一さん

(文学部人文学科英語専攻 平成22年度卒業 兵庫県高校英語科採用)

## 増えつつある教員免許の取得

近年の厳しい雇用情勢を反映してか、本学でも教員免許状を取得する学生が年々増加する傾向にあります。また、本学で教員免許状を取得した学生の卒業時の進路決定率は約90%を越えています。教職課程の履修に真摯に取り組んでいる学生が、民間企業や公務員等の就職試験等でも社会的に高い評価を得ていることが判ります。もちろん、取得しようとする免許にふさわしい「質」を備えるべく、努力を重ねることが大切です。

卒業年度別に見た教員免許取得者数の推移 (単位:人)



## 教職相談室の開室時間

開設日：月曜～金曜

受付時刻：(A)10:00～11:30 (B)13:30～17:00 ※水曜日は(A)のみ

場所：教育学部講義棟2階5209室

連絡先：電話：086-251-7660

手紙：〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1-1「教職相談室」宛

相談内容：教員採用試験に向けて

- ・論作文の添削
- ・教員採用試験についての相談
- ・教員採用試験情報の提供
- ・書類の書き方
- ・教師力養成講座のビデオ視聴と集団討論
- ・個人・集団面接、模擬授業（来室予定者が多いときは見学者として参加できます。）
- ・教員採用試験受験報告書（卒業生執筆）の閲覧
- ・講師採用に関する相談

教職関係資料の提供

- ・指導書、教科書
- ・月刊誌
- ・採用試験問題集
- ・採用試験情報
- ・研究会発表資料
- ・学習指導案
- ・文部科学省出版物
- ・教師力養成講座配布資料

## 岡山大学 教師教育開発センター

### 【津島キャンパス】

〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1番1号

■ 教師教育開発部門・教職支援部門・教職コラボレーション部門

電話：086-251-7728 FAX：086-251-7586 <http://cted.ed.okayama-u.ac.jp/index.html>

■ 理数系教員養成事業部門

電話：086-251-7737 FAX：086-251-7586 <http://cted.ed.okayama-u.ac.jp/cst/index.html>

### 【東山ランチ】

〒703-8281 岡山市中区東山2丁目17番4号 電話：086-273-8127



【センターロゴマークの由来】8つの球は岡山大学の課程認定8学部を表し、左側下部の“C”は教師教育開発センターを表しています。教師教育開発センターの意欲や姿勢とともに、8つの学部の学生がより高い資質と優れた実践的指導力を持つ教師として巣立ってくれることを願ったマークです。